

2023(令和5)年 笠間日動美術館

特別展のご案内

会場 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間 978-4)
開館時間 午前9時30分より午後5時(入館受付は4時30分まで)
入館料 「画家 岸田劉生の軌跡」一般1,000円、その他特別展 検討中。
イベント 新型コロナウイルスの影響による変更、中止の可能性があります。
URL <http://www.nichido-museum.or.jp>

2023年3月4日(土)~4月23日(日) 月曜休館

画家 岸田劉生の軌跡

http://www.nichido-museum.or.jp/exhibition_next.html

東京・銀座で生まれ、目薬「精錡水」を販売する楽善堂を営む家で育った岸田劉生(1891-1929)。白馬会の洋画研究所で黒田清輝に外光派の画風を学び、ルノワールやゴッホ、セザンヌ、さらにはデューラーなどさまざまな人物に影響を受けます。その後、一転して宋元画や南画など東洋的な美に傾倒し、劉生独自の画風を切り拓きました。水彩画をはじめ、版画、日本画、挿絵など幅広く取り組み、さらに自画像や愛娘麗子をモデルとしたシリーズは見る者を惹きつける彼を象徴する作品となりました。本展では当館コレクションの岸田劉生作品を展示し、初期から最晩年にいたるまでその画業をたどります。彼の生涯とともに多彩な作品をお楽しみください。



「築地風景」1911年



「夏の路(鵜沼海岸)」1922年



「猫図」1926年

■ 会期中のイベント

- ・ギャラリートーク(参加費:無料(要入館料)/ 場所:企画展示館)
3月18日(土)、4月22日(土) 各回 14時~(30分程度)
- ・夢境庵 茶会 場所 春風萬里荘
4月2日(日)10:00~16:00/席主:龍田宗理

■お問い合わせ: 担当:川崎/塚野 〒309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館 TEL 0296-72-2160

kawasaki@nichido-museum.or.jp m.kawasaki0373@gmail.com

2023年4月29日(土)～7月9日(日) 月曜休館(但し5月1日は開館)

生誕140年記念 北大路魯山人

生誕140年を迎える美と食の天才、北大路魯山人(1883-1959)。世田谷美術館が所蔵する「塩田コレクション」は、魯山人のよき理解者であり支援者であった塩田岩治氏による収集品で、陶磁器、漆器、書画とジャンルの幅広いことはもちろん、時には自ら窯傷を繕い、日常生活の中で使い続けたという点でも大変貴重なコレクションです。また笠間日動美術館では、1965年に北鎌倉から笠間に移築した北大路魯山人の旧居「春風萬里荘」を管理・公開するほか、2003年にはシドニー・B・カドーゾら魯山人と親交のあったアメリカ人コレクターの旧蔵品「カワシマコレクション」を加えるなど、作品収集にも力を注いできました。生誕140年にあたり、この2つのコレクションを一堂に展示し、魯山人芸術の奥深さをあらためてご覧いただくとするものです。

■ 出品予定作品 約100点

■ 会期中のイベント 参加費無料(要入館料)／場所:企画展示館

・世田谷美術館学芸員による講演会(検討中)

・ギャラリートーク 5月6日(土)、6月10日(土)、7月1日(土) 各回 14時～(30分程度)



「そめつけ福字平向」(カワシマ coll.)



「武蔵野ノ図」(笠間日動美術館蔵)



「九谷風鉢」(カワシマ coll.)

分館の春風萬里荘は、唯一現存する北大路魯山人が暮らした建物です。ここでも魯山人の作品がご覧になれます。江戸天保年間に建造された茅葺屋根民家の佇まいを庭園散策とともに楽しみください。



■春風萬里荘の入館料

笠間日動美術館のチケット半券提示で200円割引、その他割引有

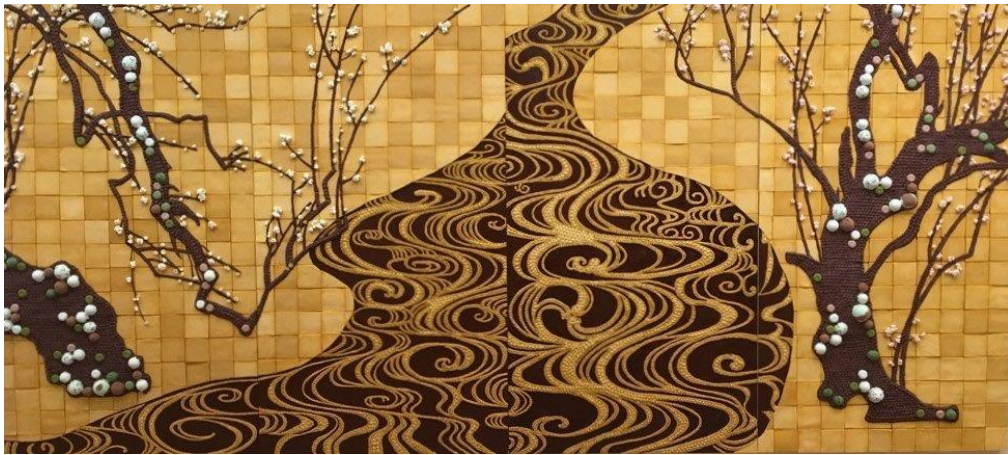
■お問い合わせ: 担当:長谷川/塚野 〒309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館 Tel 0296-72-2160

hasegawa@nichido-museum.or.jp hasegawamidori310@gmail.com

2023年7月15日(土)~9月24日(日) 月曜休館(但し7月17日、9月18日は開館、翌日休館)

渡辺おさむ お菓子の美術館 同時開催 こども絵画コンクール

樹脂を用いて様々なものにお菓子のデコレーションをする現代美術作家、渡辺おさむによるスイーツデコアートの展覧会。今回はゴッホやフェルメール、尾形光琳や葛飾北斎など、誰もが見た事のある、美術の名品を渡辺おさむのスイーツのデコレーションで新しく表現。3メートルを超える尾形光琳「紅白図屏風」がチョコレートでデコレーションされた作品やフェルメールの「真珠の耳飾りの少女」がクレープで表現された作品、また動物も森や水族館など、スイーツデコアートの世界をご体験ください。



「Chocolate River」 2018年



「クレープ少女」 2018年



「sweet castle」 2019年



「I'm thinking」 2014年

2018年、名古屋市科学館で開催された渡辺おさむの展覧会は、81日間で70,000人の入場者を記録。ゴッホやモネ、ロダンへのオマージュ作品から動物の森や水族館まで渡辺が創造するスイーツデコアートは、子供から大人まで多くの人々に注目されています。作家によるワークショップも開催します。

■お問い合わせ

担当:川崎/長谷川 〒309-1611 笠間市笠間 978-4 笠間日動美術館 Tel 0296-72-2160

kawasaki@nichido-museum.or.jp m.kawasaki0373@gmail.com

2023年9月30日(土)-12月17日(日)

月曜休館(但し10月9日は開館、翌日休館)

没後55年 藤田嗣治展



FOUJITA in Paris & Villiers-le-Bac

茨城県では観光を推進し地域の活性化を図るため、JR 東日本水戸支社と連携し、2023年秋(10月～12月)、「茨城デスティネーションキャンペーン」(以下 DC)が展開されます。本キャンペーンに際し、当館では創設者の長谷川仁と親交した藤田嗣治の展覧会を開催します。

1913年に渡仏した藤田嗣治(1886-1968)は研究を重ね、乳白色の絵肌に日本の筆で線描する画風を確立しました。またその芸術のみならず、独特の風貌と洒落な言動で社交界においても耳目を集めました。第二次大戦中は祖国で制作を行いましたが、戦後は日本と決別し、1950年、アメリカ経由でフランスに渡り、パリ時代を彷彿とさせる女性像や子どもの肖像を制作しました。1955年、フランスに帰化し、その後カトリックの洗礼を受け、レオナルド・フジタと改名しています。

この度は、挿画を含め、フランスで制作した作品を中心に展示します。なお藤田が晩年を過ごしたエソンヌ県(フランス共和国)が茨城県と友好提携を結ぶことから関連資料の提供を願い、ヴィリエール＝バクルのアトリエや同県の様子についてもご紹介する予定です。



Photographie L. Godart メゾン＝アトリエ・フジタ

■ 広報用画像

藤田嗣治「家族」1923年 油彩、カンヴァス 146×114 cm 笠間日動美術館蔵

藤田とフランスにおける最初の妻、フェルナンドが描かれている本作は、この展覧会の広報に限り、新聞、雑誌への掲載は著作権の使用が許諾済です。画像使用の際は掲載方法、クレジットをご案内します。ご連絡ください。

■ お問い合わせ

・塚野／長谷川 (公財)日動美術財団 笠間日動美術館 t.tsukano22@gmail.com

笠間日動美術館 茨城県笠間市笠間 978-4 TEL 0296-72-2160 Fax 0296-72-5655

・金澤 (公財)日動美術財団 kanazawa@nichido-garo.co.jp

日動画廊 東京都中央区銀座 5-3-16 TEL 03-3571-2553 Fax 03-3289-4446